

～ プロ転向から日本シリーズまで ～

ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果は約202億円

大学院会計研究科 宮本勝浩教授が推定

このたび関西大学会計専門職大学院の宮本勝浩教授が、ゴルフの石川遼選手の経済波及効果について推定しました。

本報告書では、石川遼選手が本年1月にプロに転向してから約1年間の活躍に伴う経済波及効果を推定。計算の結果、経済波及効果は約202億円となり、個人が及ぼした経済波及効果としては驚異的な数字となりました。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「石川遼プロの経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
- 3 発表日 2008年12月7日
- 4 内容
 - (1) はじめに
 - (2) 経済波及効果の推定の基本項目
 - (3) スポンサーとの契約金額経済効果
 - (4) ギャラリーの増加経済効果
 - (5) グッズの売上げ増加経済効果
 - (6) 賞金総額の増加経済効果
 - (7) その他の経済効果
 - (8) 経済波及効果

以上

- 1 この分析結果は、大阪日刊スポーツ新聞社様からの依頼により行ったもので、12月9日付日刊スポーツ紙に掲載されました。
- 2 分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いいたします。

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩(みやもと・かつひろ)
生年月日 1945年1月12日(63歳)
本 籍 和歌山県
現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授
学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士(神戸大学)
職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006年4月より現職
この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大
学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
専門分野 理論経済学、国際経済学(移行経済論) 関西経済論
著 書 『大阪経済学』(共著、経営書)、『移行経済の理論』(中央経済社)など
公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長
など

業 績

- 2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表
- 2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表
- 2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表
- 2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディーブインパクトの経済効果」などを発表
- 2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表
- 2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」を発表
「くいだおれ太郎の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果」を発表
「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」を発表

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>